

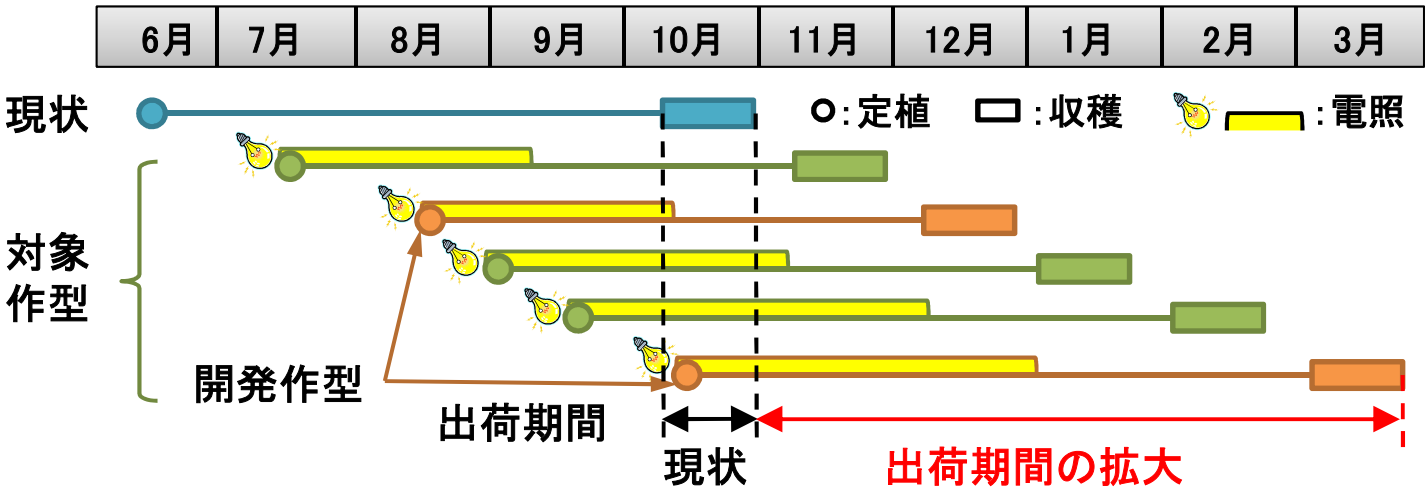
兵庫オリジナルギクの作期拡大

研究期間 平成24年度～26年度(3年間)

農業技術センター農産園芸部 玉木克知

目的

兵庫オリジナルギク(商品名「サンバママ」)は仏花のイメージではなく、パーティー用の洋花としてイメージされるような花を目標に育成した。その結果、市場評価は高く、12月のクリスマス需要、3月の年度末需要への供給を求められており、作期拡大を図る。



※キクは日長が一定時間よりも短く(暗期が長く)になると花芽をつける性質があり、人工的に照明をあてることで開花を遅らせることが出来る。しかし、自然日長が長くなる4月～9月は自然条件では花芽がつかないため、ここでは3月開花作型までを開発する。

ねらい

兵庫オリジナルギクは古典ギク(嵯峨ギク)と栽培ギク(輪ギク)の交配種であるため、その生育特性を明らかにする。そして、その特長を生かし、特性に合わせた12月、3月出荷作型を開発し、11月、1月、2月出荷作型に応用する。

◆課題

12月出荷作型(実施中)

3月出荷作型

加温条件

無加温または低加温条件の設定

加温条件の設定

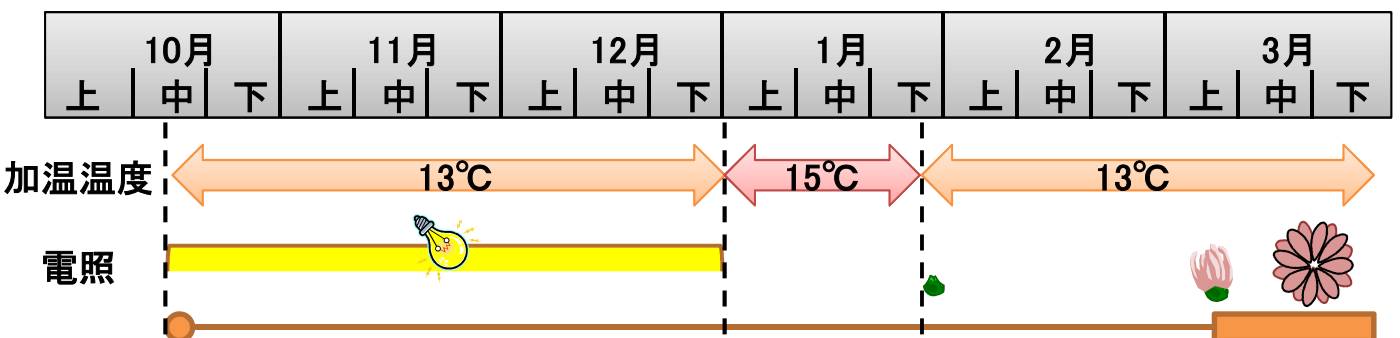
電照条件

開花までの必要期間の解明

開花までの必要期間の解明
電照時期の限界の解明

成果

3月開花作型の確立



・電照時期の限界は1月中旬で、それを過ぎると花芽誘導ができなくなる。